



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年2月9日

上場会社名 昭栄薬品株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3537 URL <http://www.shoei-yakuhin.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤原 佐一郎
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務本部長 (氏名) 成瀬 幸次 (TEL) 06-6262-2707
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	15,196	7.5	279	25.2	361	45.9	248	58.0
29年3月期第3四半期	14,135	1.9	223	△4.9	247	△9.1	157	△18.3

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 1,262百万円(—%) 29年3月期第3四半期 △39百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	208.22	—
29年3月期第3四半期	131.79	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	17,026	7,515	44.1
29年3月期	14,008	6,306	45.0

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 7,515百万円 29年3月期 6,306百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	45.00	45.00
30年3月期	—	0.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	45.00	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,554	3.9	324	9.1	381	△1.9	262	0.4	220.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

30年3月期3Q	1,193,035株	29年3月期	1,193,035株
30年3月期3Q	82株	29年3月期	39株
30年3月期3Q	1,192,992株	29年3月期3Q	1,193,035株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績予想等将来に関する内容は、本資料発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因にかかる本資料発表日現在における仮定を前提としており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費が依然低迷している中、企業収益においては幅広い業種で企業業績の改善が進み、雇用・所得環境も緩やかに改善し、景気は緩やかな回復基調で推移することとなりました。しかしながら、北朝鮮問題などの地政学リスクや米国の政権運営、中国の景気失速懸念など、先行きへの不透明感は払えない状況が続いております。

このような環境の下、当社グループの事業とかかわりの深い界面活性剤業界におきましては、生産・販売活動が概ね堅調に推移し、また、当社グループとしても化学品事業におけるオレオケミカルを中心とした既存得意先への拡販・拡充に取り組みました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高は15,196,652千円（前年同四半期比7.5%増）となり、売上総利益は前年同四半期比6.3%増、販売費及び一般管理費は前年同四半期比1.9%増と微増であった為、営業利益は279,322千円（前年同四半期比25.2%増）となりました。また、経常利益は営業外収益99,911千円、営業外費用18,041千円を計上したことにより361,191千円（前年同四半期比45.9%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は248,407千円（前年同四半期比58.0%増）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

なお、各セグメントの売上高は外部顧客への売上高を表示し、セグメント損益は四半期連結損益計算書における営業損益（営業利益又は営業損失）をベースとしております。また、各セグメントの営業損益のほか、各セグメントに帰属しない全社費用123,951千円（前年同四半期比5.3%増）があります。

① 化学品事業

化学品事業におきましては、国内主要得意先の生産・販売活動が概ね好調に推移し、品種別ではとくに高級アルコール、脂肪酸の販売が好調に推移しました。また、既存得意先への輸入化学品の拡販や香粧品分野を中心とした新規取引先の開拓等に努めました。

この結果、化学品事業に係る当第3四半期連結累計期間の売上高は13,645,046千円（前年同四半期比7.4%増）、セグメント利益は311,953千円（前年同四半期比31.2%増）となりました。

② 日用品事業

日用品事業におきましては、冷蔵庫脱臭剤・洗濯槽洗剤をはじめとする既存商品の一部商品の販売は堅調なもの、売れ行き全体では依然低調な推移が続き、利益面では原材料や運送費等の高騰化の影響を受けました。そうした中、多様化する顧客ニーズに対応すべくインターネット販売での当社オリジナル商品の販売チャネル拡大、既存得意先への新アイテムの提案、新規取引先開拓等に努めました。

この結果、日用品事業に係る当第3四半期連結累計期間の売上高は643,914千円（前年同四半期比6.6%減）、セグメント利益は96,689千円（前年同四半期比16.1%減）となりました。

③ 土木建設資材事業

土木建設資材事業におきましては、事業環境に改善の兆しが見られ、当事業の取扱商品とのかかわりの深い地盤改良工事、コンクリート補修補強工事の工事案件の受注はいまだ少ないまでも、施工会社、メーカー、二次販売店から付随する工事案件を受注することとなりました。また、これまで案件が少なかった環境関連薬剤の工事案件も受注することとなり、回復基調で推移しました。

この結果、土木建設資材事業に係る当第3四半期連結累計期間の売上高は907,692千円（前年同四半期比22.0%増）、セグメント損失は5,369千円（前年同四半期は12,150千円のセグメント損失）となりました。

[平成30年3月期 第3四半期 セグメント別連結業績]

(単位：千円，%)

セグメント区分	セグメント別売上高		セグメント損益（営業損益）	
	実績	百分比	実績	利益率
化学品事業	13,645,046	89.8	311,953	2.3
日用品事業	643,914	4.2	96,689	15.0
土木建設資材事業	907,692	6.0	△5,369	—
全社費用	—	—	△123,951	—
セグメント合計	15,196,652	100.0	279,322	1.8

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は17,026,993千円（前連結会計年度末比3,018,858千円の増加）となりました。主な要因は、商品が114,481千円、繰延税金資産が11,398千円、有形固定資産が10,862千円それぞれ減少した一方で、保有有価証券の時価変動等により投資有価証券が1,432,070千円、受取手形及び売掛金が941,116千円、現金及び預金が773,713千円それぞれ増加したことによるものです。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は9,511,692千円（前連結会計年度末比1,810,308千円の増加）となりました。主な要因は、長期借入金が400,000千円、賞与引当金が28,123千円それぞれ減少した一方で、支払手形及び買掛金が1,611,962千円、繰延税金負債が422,706千円、1年内返済予定の長期借入金が100,000千円それぞれ増加したことによるものです。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は7,515,300千円（前連結会計年度末比1,208,550千円の増加）となりました。主な要因は、保有有価証券の時価変動によりその他有価証券評価差額金が997,419千円、利益剰余金が194,723千円それぞれ増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の連結業績予想につきましては、平成29年5月10日「平成29年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」において公表した数値から変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,345,092	2,118,806
受取手形及び売掛金	6,011,317	6,952,434
商品	490,112	375,631
貯蔵品	529	431
繰延税金資産	30,920	19,522
その他	67,250	57,111
貸倒引当金	△4,890	△5,767
流動資産合計	7,940,332	9,518,169
固定資産		
有形固定資産	220,503	209,640
無形固定資産	29,044	32,467
投資その他の資産		
投資有価証券	5,368,061	6,800,132
敷金及び保証金	319,477	322,677
その他	136,920	150,111
貸倒引当金	△6,205	△6,205
投資その他の資産合計	5,818,253	7,266,715
固定資産合計	6,067,801	7,508,823
資産合計	14,008,134	17,026,993

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,276,495	5,888,457
短期借入金	33,855	34,259
1年内返済予定の長期借入金	300,000	400,000
未払法人税等	22,977	45,498
賞与引当金	62,015	33,892
その他	60,982	114,919
流動負債合計	4,756,325	6,517,027
固定負債		
長期借入金	1,350,000	950,000
退職給付に係る負債	29,385	42,054
役員退職慰労引当金	148,137	157,955
繰延税金負債	1,392,336	1,815,043
その他	25,198	29,611
固定負債合計	2,945,058	2,994,665
負債合計	7,701,384	9,511,692
純資産の部		
株主資本		
資本金	248,169	248,169
資本剰余金	176,361	176,361
利益剰余金	2,603,487	2,798,210
自己株式	△89	△219
株主資本合計	3,027,928	3,222,521
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,187,462	4,184,882
為替換算調整勘定	91,359	107,896
その他の包括利益累計額合計	3,278,822	4,292,778
純資産合計	6,306,750	7,515,300
負債純資産合計	14,008,134	17,026,993

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	14,135,813	15,196,652
売上原価	12,958,628	13,944,926
売上総利益	1,177,184	1,251,726
販売費及び一般管理費	954,010	972,404
営業利益	223,174	279,322
営業外収益		
受取利息	5,474	5,106
受取配当金	54,864	67,310
不動産賃貸料	13,755	11,770
為替差益	—	13,566
その他	2,584	2,156
営業外収益合計	76,679	99,911
営業外費用		
支払利息	11,019	10,186
為替差損	29,297	—
不動産賃貸原価	5,709	7,148
その他	6,182	706
営業外費用合計	52,208	18,041
経常利益	247,645	361,191
税金等調整前四半期純利益	247,645	361,191
法人税、住民税及び事業税	92,915	104,970
法人税等調整額	△2,503	7,813
法人税等合計	90,412	112,783
四半期純利益	157,232	248,407
親会社株主に帰属する四半期純利益	157,232	248,407

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)
四半期純利益	157,232	248,407
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△123,418	997,419
為替換算調整勘定	△73,781	16,536
その他の包括利益合計	△197,200	1,013,956
四半期包括利益	△39,967	1,262,364
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△39,967	1,262,364

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	化学品事業	日用品事業	土木建設資 材事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	12,702,716	689,117	743,979	14,135,813	—	14,135,813
セグメント間の内部売上高又は振 替高	6,112	—	2	6,114	△6,114	—
計	12,708,828	689,117	743,981	14,141,928	△6,114	14,135,813
セグメント利益又は損失(△)	237,816	115,230	△12,150	340,896	△117,722	223,174

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△117,722千円は、各報告セグメントに配分されていない全社費用△117,722千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	化学品事業	日用品事業	土木建設資 材事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	13,645,046	643,914	907,692	15,196,652	—	15,196,652
セグメント間の内部売上高又は振 替高	6,336	—	—	6,336	△6,336	—
計	13,651,382	643,914	907,692	15,202,989	△6,336	15,196,652
セグメント利益又は損失(△)	311,953	96,689	△5,369	403,273	△123,951	279,322

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△123,951千円は、各報告セグメントに配分されていない全社費用△123,951千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。